

(機密性1)

2 教育・研究活動

(12)非常勤講師等(令和6年度)

① 非常勤講師

ア 大学院学校教育研究科

(令和6年度)

| 授業科目名 | 担当時間数 |
|-----------------------------------|-------|
| 心理学統計法特論 | 30 |
| 心身医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開) | 30 |
| 産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開) | 30 |
| 心の健康教育特論(心の健康教育に関する理論と実践) | 30 |
| 教育組織マネジメント | 30 |
| 教科内容構成「道徳」の理論と実践 | 30 |
| 道徳教育の理論と実践 | 30 |
| 社会科学内容学(公民・公共・政治経済)C/社会科学内容学(公民)B | 30 |
| ピアノの理論と実践Ⅰ(独奏) | 32 |
| ピアノの理論と実践Ⅱ(アンサンブルを含む。) | 32 |
| 指揮の理論と実践 | 16 |
| 音楽実践総合演習Ⅰ | 30 |
| 音楽実践総合演習Ⅱ | 30 |
| 人物画研究 | 30 |

| 授業科目名 | 担当時間数 |
|--|-------|
| 日本語教育演習 | 30 |
| 文化的言語的に多様な子どもの教育 | 30 |
| 文化的言語的に多様な子どもへの言語教育法 | 30 |
| 文化的言語的に多様な子どもへの日本語教育実習 | 22 |
| SDGs時代の教育課程の編成・実施の実際 | 10 |
| SDGsに対応したワークショップの理論と実際 | 4 |
| 特別な教育的ニーズのある子どもに対する指導の理論と実践A—心理・行動特性を中心に— | 12 |
| 特別な教育的ニーズのある子どもに対する指導の理論と実践B—教育(課程)・指導法を中心に— | 10 |
| 知的障害心理・生理学論 | 30 |
| 知的障害教育課程・指導法(授業論) | 30 |
| 発達障害・情緒障害教育総論 | 30 |
| 発達障害心理・指導法論 | 30 |
| 自立活動の理論と実践 | 4 |
| 投映法特論 | 30 |

イ 学校教育学部

(令和6年度)

| 授業科目名 | 担当時間数 |
|----------------------------|-------|
| スラブ文化事情 | 30 |
| 学習指導と学校図書館 | 16 |
| 読書と豊かな人間性 | 30 |
| 総合・生活<A・Bグループ> | 12 |
| 総合・生活<C・Dグループ> | 12 |
| 総合・生活<免P> | 20 |
| 生活科指導法<C・Dグループ> | 26 |
| 生活科指導法<C・Dグループ>/総合・生活科指導法A | 4 |
| 生活科指導法<A・Bグループ> | 30 |
| 生活科指導法<免P> | 24 |
| 総合的な学習の時間の指導法(A・Bグループ) | 24 |
| 総合的な学習の時間の指導法(C・Dグループ) | 26 |
| 総合的な学習の時間の指導法(免P) | 12 |
| 表現・相互行為教育演習 | 4 |
| STEAM・表現と社会 | 4 |
| ICTを活用したインクルーシブ教育の授業デザイン | 2 |
| 特別支援教育概論 | 8 |
| 教育本質論 | 30 |
| 生涯学習概論B | 30 |
| 算数・数学の教材開発と授業構想 | 14 |
| 道徳教育論 | 16 |
| 保育・表現の指導法 | 30 |
| 保育・健康の指導法 | 30 |
| 身体表現の基礎 | 30 |
| 乳児保育Ⅰ | 32 |
| 乳児保育Ⅱ | 16 |
| 養護内容 | 30 |
| 保育者論 | 30 |
| 心理学研究法 | 30 |
| 心理学統計法 | 30 |
| 臨床心理学概論 | 30 |
| 福祉心理学 | 30 |
| 精神医学入門(精神疾患とその治療) | 30 |
| 産業・組織心理学 | 30 |
| 人体の構造と機能及び疾病 | 30 |
| 健康・医療心理学 | 30 |
| 心理演習 | 16 |
| 学習心理学(学習・言語心理学) | 30 |
| 神経・生理心理学(学習支援) | 30 |
| 障害者・障害児心理学(学習支援) | 30 |
| 初等国語科指導法 | 18 |
| 中等国語科指導法(課程論) | 30 |
| 国語学講読A | 30 |
| コミュニケーション英語AⅠ(Aグループ) | 32 |
| コミュニケーション英語AⅠ(Dグループ) | 30 |
| コミュニケーション英語AⅡ(Aグループ) | 32 |
| コミュニケーション英語AⅡ(Cグループ) | 32 |
| コミュニケーション英語BⅠ(Bグループ) | 30 |
| コミュニケーション英語BⅠ(Cグループ) | 30 |
| コミュニケーション英語BⅠ(Dグループ) | 32 |
| コミュニケーション英語BⅡ(Aグループ) | 32 |
| コミュニケーション英語BⅡ(Bグループ) | 32 |
| コミュニケーション英語BⅡ(Cグループ) | 32 |
| コミュニケーション英語BⅡ(Dグループ) | 32 |
| コミュニケーション英語CⅠ(Aグループ) | 30 |
| コミュニケーション英語CⅠ(Cグループ) | 32 |
| コミュニケーション英語CⅠ(Dグループ) | 32 |
| コミュニケーション英語CⅡ(Aグループ) | 32 |
| コミュニケーション英語CⅡ(Cグループ) | 32 |
| コミュニケーション英語CⅡ(Dグループ) | 32 |
| 英語コミュニケーション演習(ライティング) | 32 |
| 英語学概論 | 30 |

| 授業科目名 | 担当時間数 |
|----------------------|-------|
| 英語文学概論 | 30 |
| 英語文学演習 | 30 |
| 比較文化 | 30 |
| 中等英語科指導法(基礎論) | 30 |
| 中等英語科指導法(教授法) | 30 |
| 人文地理学概説 | 30 |
| 地誌学概説 | 12 |
| 地域環境学 | 32 |
| 倫理学概説 | 30 |
| 政治学概説 | 28 |
| 社会学概説 | 30 |
| 考古学認識論 | 30 |
| 宗教学概説 | 30 |
| 宗教学文献講読 | 30 |
| 算数科指導法(免P) | 15 |
| 算数科指導法(ABグループ) | 30 |
| 算数科指導法(CDグループ) | 30 |
| 数学科指導法 | 20 |
| 数学教材開発論 | 30 |
| 基礎線形代数学 | 32 |
| 線形代数学 | 32 |
| 代数学概論 | 30 |
| 数学ソフトウェア演習 | 30 |
| 算数(免P)(令和5年度以前入学者) | 34 |
| 物理学 | 14 |
| 物理学実験 | 28 |
| 化学 | 10 |
| 化学実験 | 20 |
| 地学 | 12 |
| 地学実験 | 28 |
| 初等理科指導法(A・Bグループ) | 14 |
| 初等理科指導法(C・Dグループ) | 14 |
| 初等理科指導法(免P) | 14 |
| 中等理科指導法(課程論) | 30 |
| 中等理科指導法(教材論) | 30 |
| 音楽音楽(免P) | 140 |
| ピアノ独奏Ⅰ(伴奏法を含む。) | 32 |
| ピアノ独奏Ⅱ | 32 |
| ピアノ独奏Ⅲ | 32 |
| 日本音楽AⅠ | 32 |
| 日本音楽B(日本の伝統的な歌唱を含む。) | 32 |
| 美術史論 | 30 |
| 伝統絵画表現と鑑賞 | 15 |
| 人物画実習 | 30 |
| 教科内容構成「図画工作・美術」 | 4 |
| 造形表示A | 15 |
| 造形表示B | 15 |
| 日本画表現 | 30 |
| ボールゲーム | 16 |
| 体育 | 2 |
| ダンス | 20 |
| スノースポーツ | 32 |
| 陸上競技 | 30 |
| 体育心理学 | 30 |
| 金属加工法 | 30 |
| 機械工学概論 | 30 |
| 機械工学実習 | 30 |
| 被服学 | 30 |
| 被服製作の理論と実習 | 51 |
| 調理の理論と実習 | 45 |
| 住居学(製図を含む。) | 10 |
| 国際交流セミナー | 30 |

(機密性1)

② 教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。）

(令和6年度)

| 授業科目名 | 授業の趣旨・概要 | 担当時間数 |
|--------------------------|--|-------|
| 総合的な学習の時間の指導法 | 「総合的な学習の時間」の指導の実際について、主に上越教育大学附属中学校における総合的な学習の時間の運用と具体的な指導の在り方について講義・演習を行う。 | 6 |
| 学習活動に困難のある子どもの教材づくり | 学習活動における困難のある子どもの教材、支援機器及び教材づくりの実際に関する基礎的な知識を得る。 | 12 |
| 初等国語科指導法 | 小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。 | 4 |
| 初等社会科指導法 | 小学校の元校長、及び、新潟県社会科教育研究会の元会長という立場から講義をしていただき、社会科の特質を理論的かつ実践的にとらえ、小学校社会科教育実践のための基礎的かつ具体的な理解を得ることを目標とする。 | 6 |
| 算数科指導法 | 小学校算数の授業を行うための基礎を身に付けるため、教材の背景について理解を深めるとともに、授業の実践的な側面についても学ぶ | 4 |
| 生活科指導法 | 生活科の授業の実際についての講話 | 8 |
| 初等音楽科指導法 | 「生活科」で子どもが動物飼育から感じ取った感情を歌にする活動から子どもの感性が育まれる学習原理について解説をしていただく | 12 |
| 図画工作科指導法 | 美術（図画工作）教育の本質を、子どもの実態、造形文化等からとらえるとともに、教科内容の教材化、指導法に関する基礎的な能力を身につける。 | 18 |
| 初等家庭科指導法 | 家庭科の特質と目標および、小学校家庭科の内容構成と児童の生活実態や学習過程を理解し、適切な指導観を養うことを目標とする。 | 4 |
| ICTを活用したインクルーシブ教育の授業デザイン | ICTを活用したインクルーシブ教育の授業デザインの基盤となる知識・技能を身に付ける。 | 18 |
| ICT活用実践演習 | ICTを取り入れた授業のあり方や児童生徒の学びを止めない学びを実現するための遠隔授業を構想・展開する実践力を育成する。 | 6 |
| 数学科指導法 | 「数学的活動」を中心に据えた数学の指導と評価の実際 | 4 |
| 数学学習過程論 | 数学的内容に対する生徒の理解を促す活動や課題の検討 | 8 |
| 中等音楽科指導法（授業論） | 中等音楽教育における今日的な課題に対応する実践的な助言・指導をいただく。 | 14 |
| 中等音楽科指導法（実践応用論） | 中等音楽教育における今日的な課題に対応する実践的な助言・指導をいただく。 | 12 |
| 障害児保育 | 様々な障害について理解するとともに、障害のある幼児の保育の実際、保護者への支援等、障害児保育に関する基礎的な知識を得る。 | 12 |

※教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。

(機密性 1)

イ 教科に関する科目

(令和6年度)

| 授業科目名 | 授業の趣旨・概要 | 担当時間数 |
|-------|----------|-------|
| なし | | |

(機密性 1)

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

(令和6年度)

| 授業科目名 | 授業の趣旨・概要 | 担当時間数 |
|------------------|--|-------|
| 保育実習指導Ⅰ | 保育所実習に必要な乳幼児の保育について実践的な理解を深める。 | 4 |
| 保育実習指導Ⅱ | 知的障害者施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。 | 4 |
| 保育実習指導Ⅲ | 保育所実習に必要な乳幼児の保育について実践的な理解を深める。 | 8 |
| 保育実習指導Ⅳ | 早期療育施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。 | 2 |
| 教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究) | 教育実習に必要な理論、技術、方法の習得を通じて、実践的指導力の基礎を培う。教育実習ルーブリックのSTAGE1の達成を目標とする。 | 20 |

(機密性1)

③ ティーチングアシスタント

大学院学生

(令和6年度)

| 授業科目名 | 授業担当教員 | 学期 | 曜日 時限 | 担当時間数 |
|--------------------|----------------|----|----------|---------|
| 体験学習 (共通) | 五百川 裕 他 | 通年 | 不定期 | 18.5 時間 |
| 体験学習 (Aグループ) | 五百川 裕 他 | 通年 | 不定期 | 20.5 時間 |
| 体験学習 (Dグループ) | 東原 貴志 他 | 通年 | 不定期 | 18 時間 |
| 体験学習 | 長谷川 正規 | 通年 | 不定期 | 20 時間 |
| 教養スポーツ (Aグループ) | 直原 幹 他 | 前 | 水 2 | 30 時間 |
| 教養スポーツ (Bグループ) | 直原 幹 他 | 前 | 水 2 | 30 時間 |
| 教養スポーツ (Cグループ) | 直原 幹 他 | 前 | 木 2 | 30 時間 |
| 教養スポーツ (Dグループ) | 直原 幹 他 | 前 | 木 2 | 30 時間 |
| スノースポーツ | 長谷川晃一 他 | 後 | 集中 | 30 時間 |
| 国際理解教育入門 | 釜田 聡 他 | 前 | 月 3 | 30 時間 |
| 音楽 | 長谷川 正規 他 | 通年 | 木 3 | 80 時間 |
| 図画工作 (Aグループ) | 安部 泰 | 前 | 金 3 | 15 時間 |
| 図画工作 (Bグループ) | 安部 泰 | 前 | 木 1 | 15 時間 |
| 図画工作 (Cグループ) | 安部 泰 | 前 | 火 3 | 15 時間 |
| 図画工作 (Dグループ) | 安部 泰 | 前 | 木 4 | 15 時間 |
| 体育 | 池川 茂樹 他 | 通年 | 火 4 | 33.5 時間 |
| 算数科指導法 (A Bグループ) | 高橋 等 他 | 前 | 木 2 | 30 時間 |
| 算数科指導法 (C Dグループ) | 高橋 等 他 | 前 | 火 2 | 30 時間 |
| 初等音楽科指導法 (A Bグループ) | 尾崎 祐司、時得 紀子 | 前 | 月 2 | 30 時間 |
| 初等音楽科指導法 (C Dグループ) | 尾崎 祐司、時得 紀子 | 前 | 木 2 | 30 時間 |
| 図画工作科指導法 (A Bグループ) | 五十嵐 史帆 | 前 | 火 3 | 30 時間 |
| 図画工作科指導法 (C Dグループ) | 五十嵐 史帆 | 前 | 木 1 | 30 時間 |
| 初等体育科指導法 (Aグループ) | 周東 和好 他 | 前 | 月 1 | 26 時間 |
| 初等体育科指導法 (Dグループ) | 周東 和好 他 | 前 | 水 1 | 26 時間 |
| 初等家庭科指導法 (A Bグループ) | 小高 さほみ | 前 | 火 1 | 15 時間 |
| 初等家庭科指導法 (C Dグループ) | 佐藤 ゆかり | 前 | 火 1 | 7.5 時間 |
| コミュニケーション英語B I | 野地 美幸 | 前 | 木 2 | 30 時間 |
| 小学校英語指導法 (Aグループ) | 大場 浩正 | 前 | 火 2 | 18.5 時間 |
| 小学校英語指導法 (Bグループ) | 大場 浩正 | 前 | 火 2 | 16 時間 |
| 小学校英語指導法 (Cグループ) | 大場 浩正 | 前 | 火 4 | 12 時間 |
| 小学校英語指導法 (Dグループ) | 大場 浩正 | 前 | 火 4 | 15 時間 |

| 授業科目名 | 授業担当教員 | 学期 | 曜日 時限 | 担当時間数 |
|------------------------|---------------|----|----------|-------|
| 総合的な学習の時間の指導法（A Bグループ） | 釜田 聡 他 | 後 | 水 1 | 15 時間 |
| 総合的な学習の時間の指導法（免許P） | 釜田 聡 他 | 後 | 木 6 | 15 時間 |
| 心理学実験 | 飯塚 有紀 他 | 後 | 木3・4 | 18 時間 |
| 書写書道 | 押木 秀樹 | 後 | 月 3 | 30 時間 |
| 中等国語科指導法（書写論） | 押木 秀樹 | 前 | 月 3 | 30 時間 |
| 中等英語科指導法（授業論） | 大場 浩正 | 後 | 火 2 | 16 時間 |
| 英語学演習 | 野地 美幸 | 前 | 水 2 | 30 時間 |
| 地理学野外実験 | 山縣 耕太郎 | 前 | 集中 | 0 時間 |
| 物理学実験 | 小川 佳宏 | 後 | 月3.4 | 30 時間 |
| 化学実験 | 下村 博志 | 後 | 火5.6 | 30 時間 |
| 生物学実験 | 五百川 裕あ | 前 | 火1.2 | 21 時間 |
| 地学実験 | 濤崎 智佳 | 通年 | 月4.5 | 30 時間 |
| 指揮法 | 長谷川 正規 | 前 | 木 5 | 30 時間 |
| 造形基礎A C | 安部 泰、伊藤 将和 | 前 | 月 5 | 10 時間 |
| 日本画表現 | 松尾 大介、齋 期天 | 前 | 火 4 | 30 時間 |
| デザインワーク I | 安部 泰 | 後 | 木 3 | 30 時間 |
| 彫刻表現 I | 松尾 大介 | 後 | 木 5 | 19 時間 |
| 器械運動／体操・器械運動 | 周東 和好 他 | 後 | 水 2 | 21 時間 |
| 生物育成の技術／栽培法 | 山崎 恭平 | 前 | 木 3 | 30 時間 |
| 木材手工具加工法 | 東原 貴志 | 前 | 木 5 | 15 時間 |
| 木材機械加工法 | 東原 貴志 | 後 | 月 4 | 24 時間 |

博士課程学生

| 授業科目名 | 授業担当教員 | 学期 | 曜日 時限 | 担当時間数 |
|--------|--------|----|----------|-------|
| (実績無し) | | | | 時間 |

(機密性 1)

④ ティーチング・サポーター

大学院学生

(令和 6 年度)

| 授業科目名 | 授業担当教員 | 学期 | 曜日 時限 | 担当時間数 |
|---|---------------|----|----------|---------|
| 国語（書写を含む。） | 押木 秀樹 他 | 前 | 金 1 | 30 時間 |
| 理科 | 五百川 裕 | 後 | 月 2 | 29.5 時間 |
| 音楽 | 長谷川 正規 他 | 通年 | 月 6 | 12 時間 |
| 図画工作 | 安部 泰 他 | 前 | 木 6 | 30 時間 |
| 図画工作（Eグループ） | 安部 泰 他 | 前 | 火 3 | 15 時間 |
| 体育 | 松浦 亮太 他 | 通年 | 火 5 | 10 時間 |
| 家庭 | 吉澤 千夏 | 前 | 月 2 | 20.5 時間 |
| 道德教育論 | 早川 裕隆 他 | 後 | 木 1 | 30 時間 |
| 特別活動論 | 高橋 知己 | 前 | 木 2 | 16 時間 |
| いじめ防止教育論 | 高橋 知己 | 前 | 木 2 | 16 時間 |
| 算数科指導法 | 布川 和彦 他 | 後 | 水 6 | 22.5 時間 |
| 初等音楽科指導法 | 尾崎 祐司、時得 紀子 | 前 | 火 2 | 30 時間 |
| 図画工作科指導法 | 五十嵐 史帆 他 | 後 | 木 6 | 30 時間 |
| 初等体育科指導法（Bグループ） | 周東 和好 他 | 前 | 月 1 | 26 時間 |
| 初等体育科指導法（Cグループ） | 周東 和好 他 | 前 | 水 1 | 26 時間 |
| 初等家庭科指導法 | 佐藤 ゆかり、小高 さほみ | 前 | 木 6 | 21 時間 |
| 教育相談・カウンセリング論 | 宮下 敏恵 他 | 後 | 木 2 | 49 時間 |
| キャリア教育論 | 山田 智之 | 後 | 月 1・月 6 | 30 時間 |
| 日本国憲法 | 小島 伸之 | 後 | 水 1 | 30 時間 |
| 人権・同和教育 | 蜂須賀 洋一 | 後 | 金 1 | 30 時間 |
| 特別支援教育概論 | 小林 優子 他 | 後 | 木 5 | 58.5 時間 |
| ICTを活用したインクルーシブ教育の授業デザイン／ICTを活用した通級による指導（自立活動）の授業デザイン | 藤井 和子 他 | 前 | 木 5 | 60 時間 |

⑤ リサーチ・アシスタント

(令和6年度)

| 任用期間 | 研究補助業務 担当時間数 | 研究プロジェクト等名 | 左の中心的組織名 | 研究プロジェクト 代表者 |
|--------|-----------------|------------|----------|-----------------|
| (実績無し) | | | | |